

(北信地域)

令和8年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	若者の活躍をサポートする NAANO ユース応援隊～木島平モニターツアー～		
事業主体 (連絡先)	NAGANO ユース応援隊 小林達矢 080-8316-2742		
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 (ア 特色ある観光地づくり)		
事業タイプ	ソフト		
総事業費	303,900	円 (うち支援金 :	243,000 円)

事業内容

長野県木島平村はカヤの平高原や馬曲温泉など観光資源を有するが、2022年の観光客は約16万人と2005年の4割に減少し、若者の転出も続いている。

本企画では村外の若年テレワーカーを対象に、2025年11月に1泊2日のモニターツアーを実施し、地域交流と村の魅力体験を通じて関係人口創出の第一歩とする。2026年2月には実績を分析し、専門家を招いて滞在型観光の可能性と今後の施策を検討する。



【カヤの平と水のお話】

【目標・ねらい】

- ①関係人口の創出
- ②地域住民との交流機会創出
- ③若年層の来訪促進

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ・ 木島平村のワーケーションツアーを分析し、地域交流や自然環境が高評価 (5人中5段階評価で4以上)
- ・ ワーケーションは「観光→滞在→移住」をつなぐ関係人口創出の施策として有望。
- ・ イベント化・広域連携で滞在型観光と地域ファンを増やす方向性を提案。

※自己評価【 B 】

【理由】

モニターツアーの参加人数、満足度に関しては概ね事業計画通り。一方今後の進捗に関しては、滞在型観光交流拠点の整備などハードに関わる部分あり。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。(今後の事業展開、取組の継続に向けた財源確保など)。

既存の農業体験や山岳整備など地域活動に参加するコンテンツにより、来訪者が村での暮らしや自分の役割を想像できる点が特徴である。

一方で、移住希望者がいても住居や仕事の不足、冬季のアクセスや生活環境などの課題が指摘されている。今後は地域資源や既存施設を活用した滞在環境の整備、広域連携による来訪機会の拡大、交流を通じた地域ファンづくりを進めることで、滞在から多拠点居住・移住へつながる持続的な地域活性化が期待される。ワーケーションを通じて、観光にとどまらない滞在型交流を促し、関係人口の創出を目指すことを村と観光振興局と目線を合わせていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある